

01 一般会計の決算額

前年度に比べて約1億856万円の減額

平成22年度決算が、9月定例議会で認定されました。下表のとおり、歳入・歳出の差引残額は、2億768万円となりました。歳出総額は、前年度に比べて1億856万円の減額となり、減額となった主な理由は、公債費（借金の返済）の支出減などが挙げられます。今後の財政運営については、無駄な歳出については徹底的に省く行財政改革を行いつつ、より財政の安定化を推進していく必要があります。

平成22年度 一般会計の決算額 (万円未満は四捨五入)

歳入 52億9,455万円

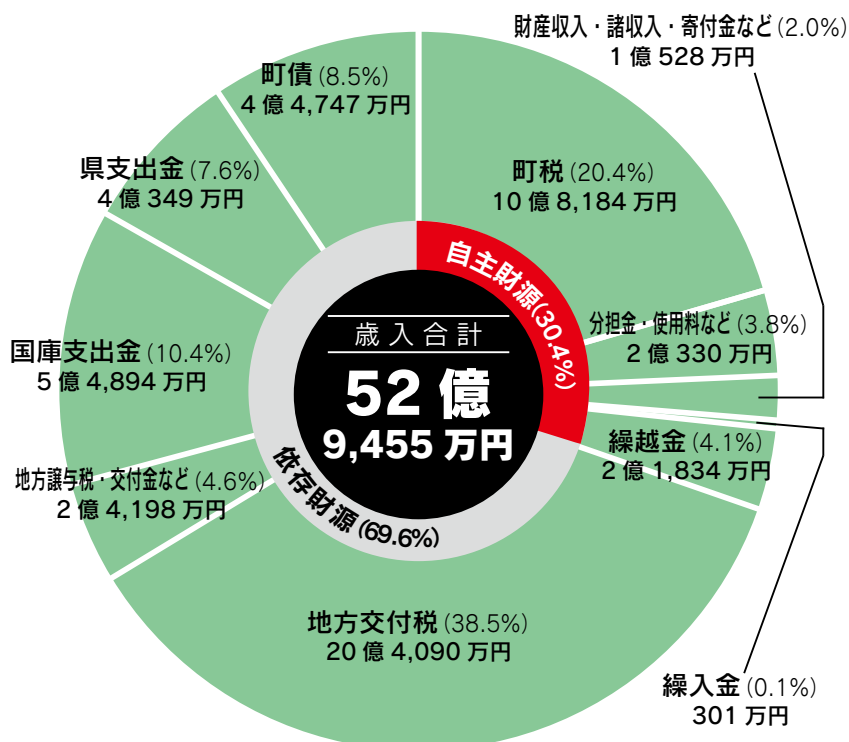
町民1人当たり37万2,017円
(前年度：37万7,687円、5,670円減)

歳出 50億8,687万円

町民1人当たり35万7,425円
(前年度：36万2,455円、5,030円減)

差引残額 2億768万円

※平成23年3月31日現在の人口1万4,232人で算定



「決算」は、1年間に税金などの収入がいくら入り、それがどのように使われたかをまとめた「町の家計簿」です。

この「町の家計簿」について、平成22年度に町が使ったお金（歳出）と皆さんが納められた税金や国・県からの補助金、交付金など（歳入）から見える、町財政の現状及び課題、運営の評価を見てみることにしましょう。

平成22年度決算報告

「町の家計簿」チエツク!!

02 一般会計歳入

自主財源は約30%、依存財源が約70%

平成22年度の一般会計の歳入は52億9,455万円でした。その内訳は、国や県等に頼った依存財源が約69.6%、町税などの自主財源が約30.4%となっています。しかし、自主財源には全体の約4.1%にあたる前年度からの繰越金（2億1,834万円）等が含まれているので、実際の町税などの収入は、約26.2%という状況です。依存財源の中で最も多い割合を占めるのが地方交付税で、20億4,090万円、歳入全体の約38.5%を占めています。